

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [青山学院大学] 担当教諭名 [横山 徹] (3年ゼミ 13名)
 交流相手国 [メキシコ]
 海外学校名 [Universidad Veracruzana] 担当教諭名 [黒崎 充]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	専門演習	美術教育	約 15 時間

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	「アミーゴ」 AMIGO
絵に込めたメッセージ	アミーゴ(友達)として、交流しながら、それぞれ自国の文化や伝統をシンボリックに表現した。風景や人物、文様などお互いの国に対応した色彩やモチーフになっている。スカイプ会議では最後に手をつなぐこととし、ベラクルス州立大学と青山学院大学の友好を強調させた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
アートマイルのプロジェクトがなければ会えなかったベラクルス州立大学との交流ができたことは、学生にとって刺激的であった。クラスが一つの絵に集中し、自分の国や他国の文化並びに伝統を考える機会になったと思う。ICT 活用の重要性もちろんであるが、自筆の絵や文字は大切であることがわかった	年間のスケジュールを立てるにあたり、大学間の学事歴の差や14時間の時差に苦勞した。特にスカイプは授業時間に合わせて行えなかった。テーマの設定あたり、相手国と十分に検討が行えるような、ICT の活用方法や関連環境の整備、スペイン語の学習などが課題としてあげられる。年末の郵送が遅れるため発送時期を配慮しなければならない。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
作品がベラクルス大学での展示や郵送の関係で2月24日(後期授業終了後)に戻ってきたこともあり、現在は学内の教室で展示を行っている。また今後、メキシコ大使館と展示ができるか模索をしている。	現在は聴取ができていない状況である

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	アートマイルについてのオリエンテーション 実物の作品展示会見学(横浜 JICA)	不安と期待に胸を膨らませる 実物の絵を観ることで、スケール観や画材についてのイメージ形成に役に立った	演習専門
情報収集	7月	メキシコやベラクルスについての情報収集を分担して調査、報告 スカイプ・Facebook のアカウントの立ち上げ	ベラクルス州立大学の学生から自己紹介のビデオレターが届く。日本語講座のクラスで、日本語による自己紹介が大変上手く驚いた。日本からも自己紹介文(自画像イラスト入り)と4分間に編集したビデオレターを送付	専門演習
テーマ検討	7月 8月	テーマについて、ゼミ内での検討 オーソドックスだが、自国の伝統文化を紹介することとし、それに沿って個々の絵を持ち合い検討、最終案に絞って下描きを制作	さまざまなアイデアを出し合い、意欲的に取り組めた。個々の違ったアイデアを一つの絵にまとめるのに苦心した	演習専門
制作	9月	下描きをベラクルスに送付し、夏季休暇中の18、19日にスカイプ会議を経て集中制作(10月にEMSで送付)	作業分担し、意欲的に制作活動に取り組めた。スカイプ会議の話し合いでテーマを「アミーゴ」AMIGOとした	演習専門
鑑賞	2月	教室に展示後、それをもとに鑑賞を兼ねたスカイプ会議を行った	Facebook で完成を確認していたが、実物を見て感激していた	演習専門

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	知っているつもりでも七福神や千鳥のように、自国の文化を相手国にわかるように説明することの難しさに気付いた。
異文化の理解	A	4	テーマ別に分担を決め、メキシコについて調査してきたものを報告し、理解するよう努めた
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	スカイプを通しての英語のコミュニケーションが片側通行になりがちであったが、それを補うため、クリスマスカード、自己紹介DVD、手紙、Facebook 等で補えるよう心掛けた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	調査についてはインターネットが有効に活用できた。特にFacebookは即時性があり、両国のアカウントを持ったグループ内で、情報の共有と発信に有効であった。反面、手薄になったフォーラムに学生も関わるよう工夫したい
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	Facebook で個人的にも交流ができ、有効な関係が築けた。情報交換は今後も継続し、次年度の学生につなげたい。
協働する力 (役割分担・協力)	B	5	メキシコの学生たちと協働で絵をかきという、具体的な目標がありそれにむかって、ゼミの結束力も高くなった
学習を追究する意欲	B	3	スカイプやFacebookを通じてお互いの文化などを知りたいという意欲が続いた。プログラムが長期間にわたるためメリハリをつける工夫をしたい
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	自国や相手国の文化や伝統を理解し、一つの絵として力強く、シンボリックに表現することができた
作品を鑑賞する力	B	4	2国間の違いを色や形(モチーフ)で対比させたことを感じ取ることができた